

野々市中央公園規模拡張計画

scale expansion program

Nonoichi Chuuo Park

計画内容

Plan contents

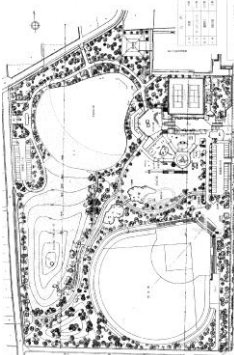
1. 陸上競技場の設置
2. 公園全体の整備
3. 緑の保全と緑地拠点の形成

コンセプト

Concept

自然を体感できる場をつくる

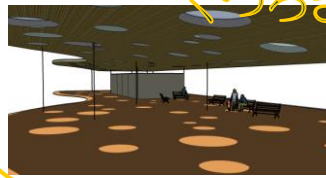
野々市町は山や川が少ない → 自然を感じられる場所が少ない
 野々市町役場周辺で都市開発 → 自然を感じられる場所が減少



現在の野々市中央公園

規模を約2倍に拡張

円形状のトップライトから降り注がれる光は、空間に光と影のコントラストをつくり出す。屋根付空間には、子供広場、くつろぎスペース、トイレ、倉庫があり、子供広場は雨の日でも遊ぶことができるように計画した。



くつろぎの屋根付広場

芝生とグラウンドの境界線上に位置し、自然を感じることができる空間から野球場、陸上競技場等の活気あふれる空間への変化を強調する。

集いの水広場



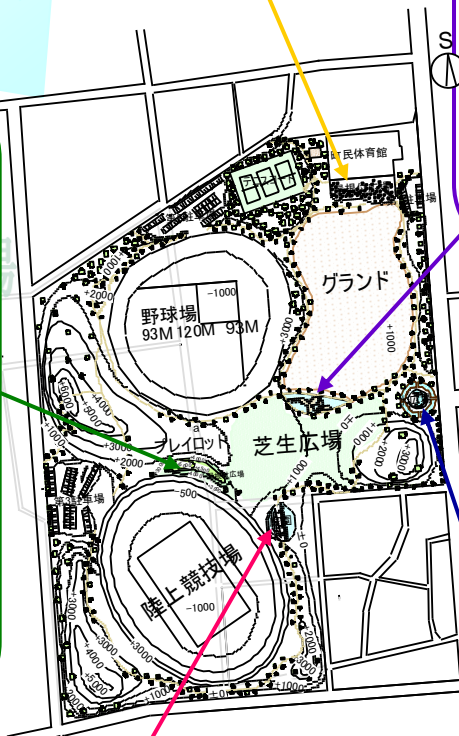
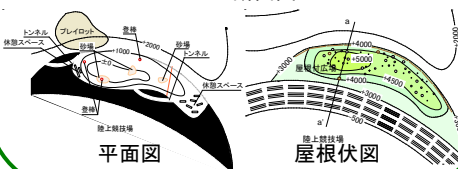
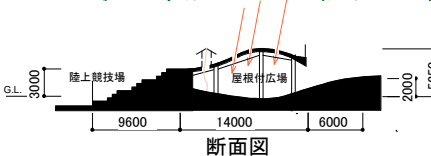
水は中心から外へと静かに流れていく。また、道路の延長線上に位置していることから利用者の注目を集め、玄関口のような役割も果たす。

水の玄関



丘の起伏を利用し自然に溶け込むようなデザインとした。また、陸上競技場と一体化させることで建物による圧迫感を軽減する効果もある。内部空間には、子供が遊べるように遊具を配置する。

起伏を利用した屋根付広場



この庭園は、園路の通過地点に位置しており散歩やジョギングをしている人に楽しんでもらうために設けた。

庭園



金沢工業大学
 2007年度 工学設計Ⅱ
 プロジェクトテーマ : 野々市中央公園規模拡張計画
 クラス番号 : VA302
 チーム番号 : 6
 チーム名 : τ
 チームメンバー名 : 田中拓也 中島唯史
 藤原功待 三島直也
 森田雄一郎 阿部泰彰
 担当教員名 : 吉田啓史郎